

事務事業名		不妊治療費補助金			
実施期間	平成 23 年度 ~ 平成 年度	(終期の設定のない場合は、終期を空白)		所管課	保健医療課

長期総合計画	04-06-03	心と体の健康づくりで命が輝くまち(保健・福祉・医療)	健康づくりの推進	保健事業の充実
予算科目	会計 01 一般会計	目 03 母子保健費	款 04 衛生費	事業 2401 母子保健事業
			項 01 保健衛生費	

対象者	市民	対象者数など	交付件数:25件(H26)
根拠法令・計画等	庄原市不妊治療費補助金交付要綱(平成23年7月8日告示第99号)		
HPアドレス	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/health/health/post-64.html		

実施目的	医療保険対象外の特定不妊治療を行う者に予算の範囲内において補助金を交付し、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る
事務事業の概要	<p>【対象者】 次の全ての条件を満たす者。 ・市内に住所を有する者 ・法律上の婚姻をしている者 ・広島県不妊治療支援事業による助成の決定を受けた者</p> <p>【補助金額】 1回の特定不妊治療(体外受精、顕微授精)に要した医療費から広島県不妊治療支援事業の助成額を差し引いた額を補助補助金上限額は特定不妊治療1回につき15万円 ただし、採卵を伴わない治療の場合は、75,000円を上限</p>

年度別実績概要	
平成 24 年度	申請(決定)件数:22件 申請者実人数:13人 補助金交付額2,656,048円
平成 25 年度	申請(決定)件数:28件 申請者実人数:16人 補助金交付額3,736,608円
平成 26 年度	申請(決定)件数:25件 申請者実人数:17人 補助金交付額3,007,745円

実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 24	H 25	H 26	合計
	事業費	補助金		2,656	3,737	3,008
						0
						0
		事業費計	2,656	3,737	3,008	9,401
財源	国県補助金					0
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		2,656	3,737	3,008	9,401

実績 (アウトプット)	指標名称	単位	基準値	H 24	H 25	H 26	合計
	1	申請(決定)件数	件		22	28	25
2	補助金交付額	千円		2,656	3,737	3,008	9,401
3	申請者実人数	人		13	16	17	46
成果 (アウトカム)	1	治療後の妊娠届出数	件	5	6	7	18
	2						0
	3						0
備考	H25の妊娠届出数には双子の出生が1件あり、2件としてカウント						

事務事業名	不妊治療費補助金	所管課	保健医療課
-------	----------	-----	-------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布				
分布は、A+1,B+0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合は'A,C'に補正する					市民意見	評価委員会			
優先度		B	A	A	分布	平均	分布	平均	
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				12		4		
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				1		3		
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				0	1	0	1	
認知度		B	C'	B	分布	平均	分布	平均	
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				1		0		
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				5		7		
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				7	0	0	0	
有効性		A	A	A	分布	平均	分布	平均	
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。				9		4		
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				4		3		
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				0	1	0	1	
受益者満足度		A	A	A	分布	平均	分布	平均	
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				1		5		
B	どちらともいえない。				0		2		
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				0	1	0	1	
市民(納税者)納得度		A	A	A	分布	平均	分布	平均	
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				8		4		
B	どちらともいえない。				4		3		
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				0	1	0	1	
代替性		A	A	A	分布	平均	分布	平均	
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				12		7		
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				1		0		
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				0	1	0	1	
まちづくり基本条例適合性		B	B	B	分布	平均	分布	平均	
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				6		0		
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				7		7		
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				0	0	0	0	
所管課評価		拡充して実施							
評価視点	申請実人数や相談件数は増加傾向にあり、一部の近隣市町では自己負担を無料化するなど、拡充の動きが見られる。今後も更なる需要が見込まれることから、一般不妊治療や不妊検査への補助も含め拡充を検討することについて意見を求める。								
所管課が課題と考える内容	市と県の補助金を活用した場合も1申請あたり124,546円の自己負担が生じ、負担軽減施策として十分とはいえない。								
市民意見(プラモニ)		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。) ※全意見は、ホームページに掲載しています。							
意見数分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し	総回答数			
	5	8	0	0	0	13			
主な意見	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仮に拡充するにしても一律で1回3万円などの自己負担があってもいいのでは。歯の矯正やガンでの入院、負担が大きい医療でも、負担があります。少子化といいながら、まったく負担がないのは納得できません。【60代・男性】 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不妊で悩んで居られる方々の手助けとなるよう、また不妊といっても様々なケースもあるようですので、考慮し拡充したほうがよいのではと思います。(あまり普段どれだけいっしょるか表面化するものでもないので増加傾向といわれてもピンときませんが、あきらめないで希望もてる庄原市となるのであれば拡充していくべきではないでしょうか)【50代・男性】 ●子どもが増えるのなら、拡充してもいいと思いますが、回数を制限するなど必要ではないでしょうか。自己負担がまったくなしというのはどうかと思います。所得が高い人は除外してもいいのでは。【40代・女性】 ●人口増加に少しでも効果があればよいと思います。子どものほしい夫婦のためにぜひ行ってください。【団体・法人登録者】 ●自己負担をゼロにするというのは宜しくないと思います。基本はあくまでも自分の為だと思いますので、一定の負担を求めるのは当然ではないでしょうか？しかしながら、一度に12万円の個人負担は大きすぎると思います。定住化と同じく人口を少しでも増やすためには進めるべき事業だと思いますので、是非個人負担分を減らせるような方向で事業を拡充して頂ければ良いと思います。【40代・男性】 								

行政評価委員会評価 拡充して実施	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
-------------------------	------------------------------------

総括意見

本事業は、今後も増加が予想される不妊対策として不可欠な事業であり、下記の事項に留意し拡充して実施されたい。

- ① 少子化対策等、施策の目的を明確にすること。
- ② 保健師等の専門職も積極的に関わり、情報提供・職場等の理解を得る施策等、総合的な支援を行うこと。
- ③ 対象者が早期に治療に取り組めるよう、早い段階での啓発・制度周知に努められたい。
- ④ 交通費等を含めた医療費以外の支援についても検討すること。
- ⑤ 別途、交通費等の経費を要することや本制度の目的を鑑みると自己負担無料化についても理解を示すが、他の疾病施策との関係を考慮するとともに、真に住民の納得が得られるよう慎重に検討されたい。

※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し
		7			

各委員の意見

【拡充】

- ① 治療費負担・不安・体への負担・仕事との両立の難しさや様々な悩みを抱えながらの治療なので、職場の理解、心と身体のケア、治療費の補助は欠かせないと思います。可能であれば自己負担なしに拡充を望みます。また一般不妊治療の場合も保険適用ではあるが、負担、悩みは同じなので、いくらかの補助をしてほしいと思います。
- ② 不妊治療をされている方々が、高額治療費を負担し、心身ともに大変な思いをされていることを思うと、社会全体が理解し協力できる環境作りが必要であると思う。他の疾病で高額な治療費を負担している方々もいらっしゃる中、その分野の制度等を考慮し、自己負担を0にするべきかは十分に検討するべきだと思う。
- ③ 子を授かりたいと願う夫婦に不妊で授けられないと分かった時の気持ちは計り知れない。治療に掛かる経費、その他諸々の経費を考えると考慮の必要があると思います。
 - ・ 情報提供－婚姻を機に不妊についての情報提供をする。
 - ・ 学習の場－小中学校時代から体に関する保健活動を行う。などを行い不妊症予防ができればと思います。
- ④ 本制度は、未婚男女も含め広く周知し、不妊で長く悩まず早期に不妊検査を行える環境をつくり、不妊治療を行えるようにすることで、結果として治療費も妊娠にも良い効果が生まれると考えます。少子化を考えるうえで、出産を希望される方をみんなで応援する事は、はじめの一步目と考えますので、妊娠に至るまでの全額費用負担は、ある一定期間は不合理ではないと思います。
- ⑤ 治療を受ける方の心身の負担、経済的な負担等を考えれば、補助内容を充実して、より多くの方が検査や治療に取り組める制度になるよう望みたい。不妊治療が多くの方に理解され、本制度の周知が図れるよう、保健師等の相談など含めて、ていねいな対応をお願いしたい。議論の中にあつた、自己負担については、1回、5,000円～10,000円の負担は必要だと感じる。
- ⑥ ・ 少子化への対応と子供を希望する人の負担軽減策として必要な事業だと思います。
 - ・ ただし、あくまで個々人の要望が主体の内容だと思われるので、費用対効果の面にも配慮する必要があると思います。
 - ・ 子供が地域の宝と思え、人にやさしい地域であるとの意識醸成が大切だと思います。
- ⑦ 近隣市町の動向も踏まえ、制度を拡充していくことが、安心して治療できる環境づくりの一助になればと考えます。

今後の事業実施の方向性	
--------------------	--

詳細

備考